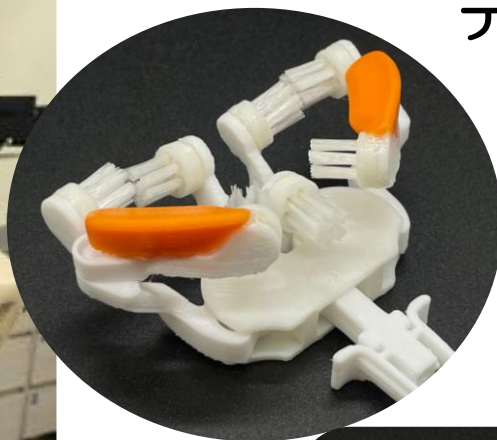


図 1

長生きを切り拓（ひら）く口腔ケアロボットの “未来”につなげる臨床研究を！



テーマ：口腔ケアロボットによる口および
全身の健康維持支援事業

ファンディングの目的：
要介護多施設臨床研究を実施する為の原資調達



図 2

2. □の全ての機能をサポートする 『できた！』が増えるステップ

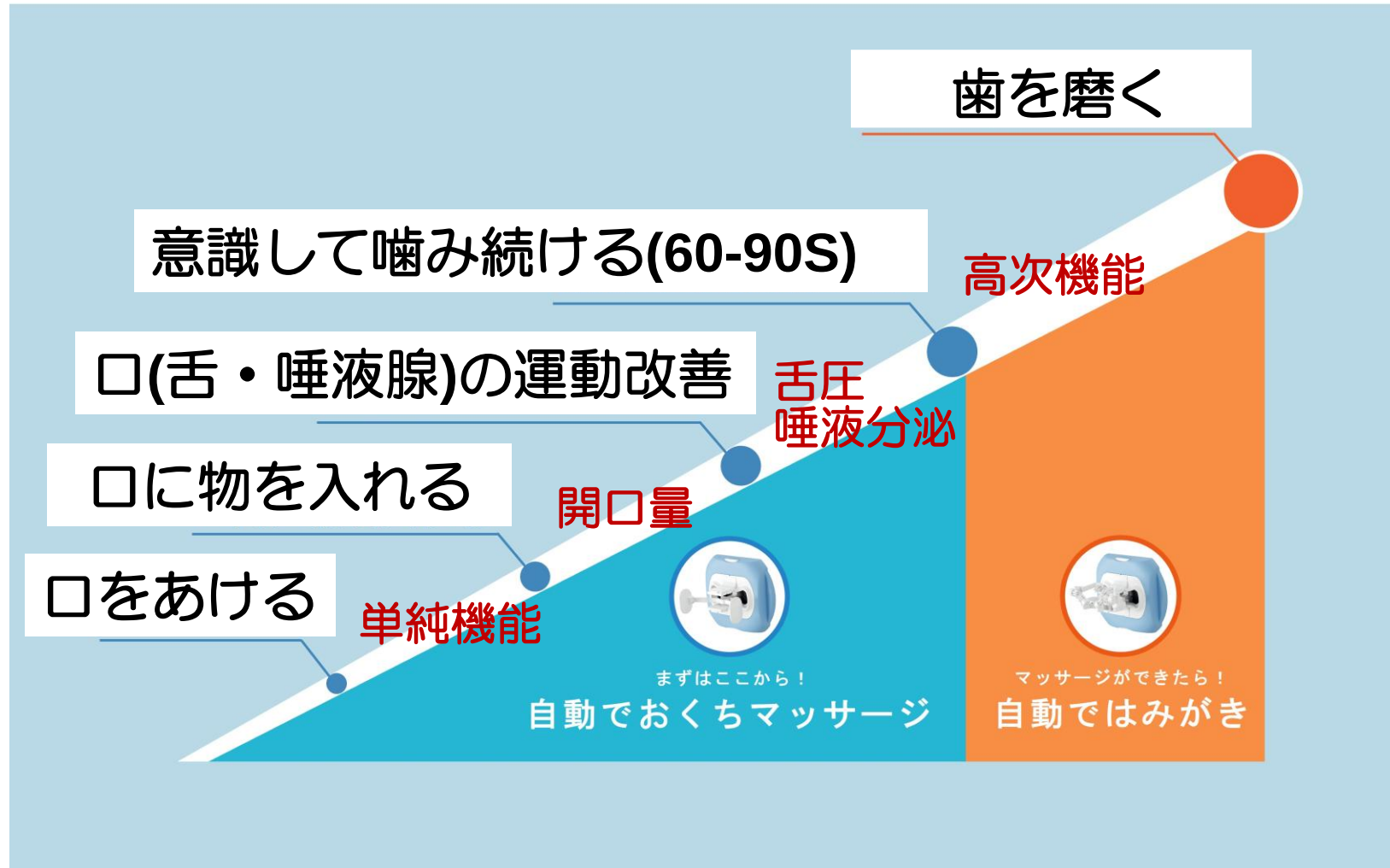


図 3

症 例

- 1) 年齢：26歳 性別：男
- 2) 病名：筋ジストロフィー
(小学生時に発症)
介護状況：全介助/在宅
 - ・自力で歯ブラシを持ち磨くのは困難
- 3) 残存歯数：28本 開口量：3横指以上
食事形態：通常食 発声：可能
- 4) 全自動歯ブラシを使用
- 5) 臨床所見
 - ・口腔環境の改善：+ (訪問歯科医が確認)
 - ・本人の心理的負担： ↓
 - ・母親の介護負担： ↓

本人承諾済



©Genics Co., Ltd. Proprietary

図 4

口腔ケアロボットのスペック

デンタルバイオフィーム除去効果



試作8号機：
220秒磨き

(55S×4回)
上下顎2回ずつ

1回磨き時の平均PCR：38.3%

最終の平均PCR：22.4% (n=8)

Sotozono M, Noiri Y et al. J Health Care Dent 2022; 23:47-56.

(A) 歯磨き前



(B) 歯磨き後



図 5

メディアへの露出

- NHK 『あさいち』
- NHK 『おはよう日本』
- がっちりマンデー
- Forbes
- 村上信五くんと経済クン
- 日経トレンディ
- 日本経済新聞
- Make Money Survive

その他出演依頼多数：ロボットの広報

共同通信、新潟日報より照会あり、BSNラジオ出演決定：
ファンディングの広報

図 6



抗加齢協会主催、
抗加齢医学会共催
2024, 10, 25.
東京（日本橋）

図 7

マルチ口腔ケアロボット誕生への道！

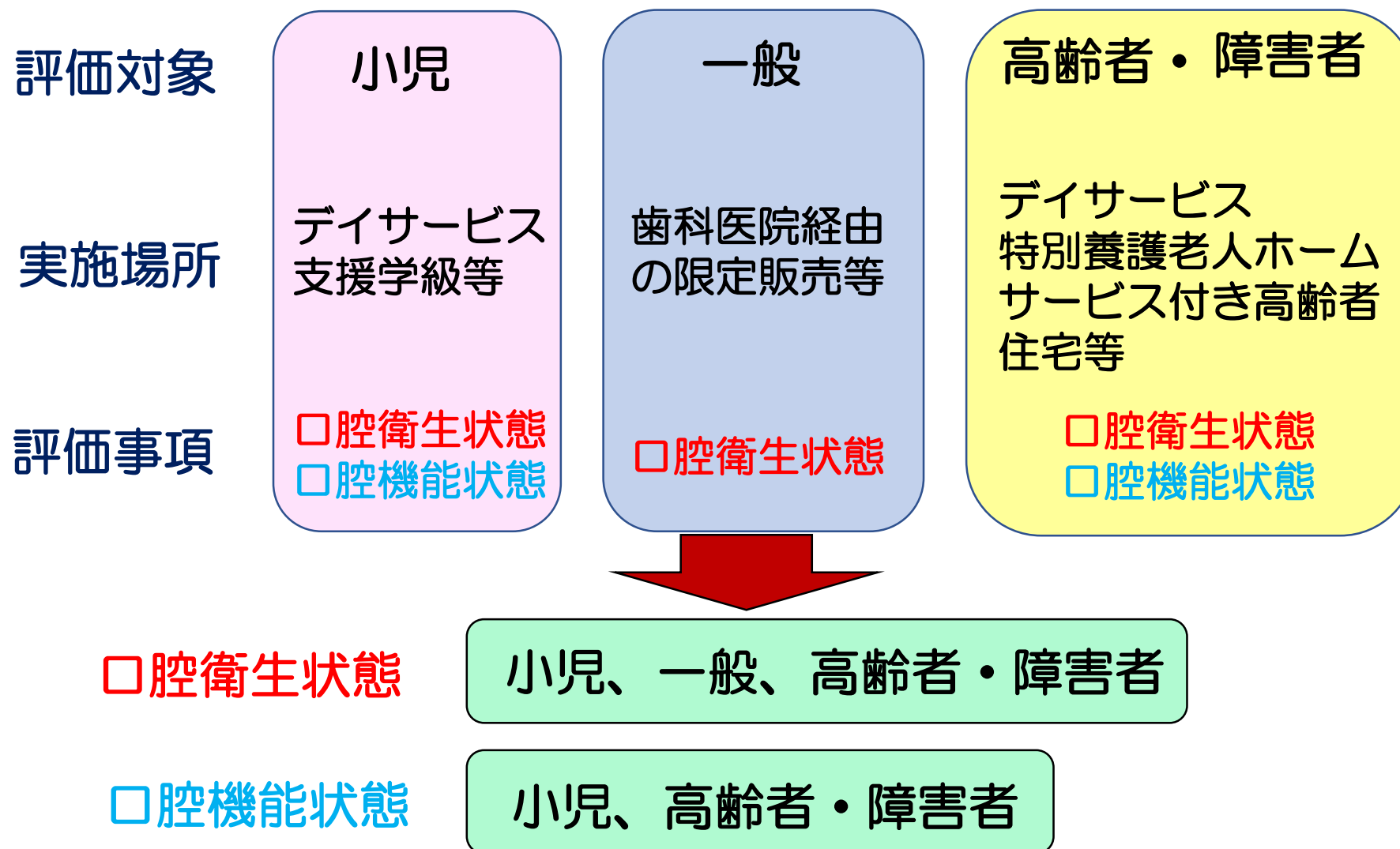


図 8

資金使途

【プロジェクト情報】

4施設

マッサージ機能の評価として

- ・口腔の機能（3項目）を、評価する。（開口量、唾液量、舌圧）

歯ブラシ機能の評価として

- ・口腔衛生状態（3項目）を評価する。（プラークおよび歯肉炎指数、プラークコントロールレコード: PCR）

ロボットの総合評価として

- ・全身の健康状態（6項目）を評価する。

（体重、熱発、肺炎、flu、Cov、アンケート調査）

第一目標

500万円

4施設

マッサージ機能の評価として

- ・左の評価項目に2項目追加する。（フレイル、口腔乾燥度）

歯ブラシ機能の評価として

- ・左の評価項目に2項目追加する。（TCI、唾液の細菌検査）

総合評価項目は左と同じ

第二目標

1000万円

8～10施設

施設数を2倍程度に増やして、実施する。

- ・マッサージ機能、歯磨き機能ともに、評価する項目は、第2目標額の研究と同一とする。

第三目標

1500万円

期間はすべて1年